

新年あいさつ

新しい年号そしてオリンピック・パラリンピックイヤーの新年会に主催者挨拶のご指名を賜りました、設備設計事務所協会会長を務めています、安谷屋です。よろしくお願いいたします。

改めまして 新年あけましておめでとうございます。

年初めの忙しい中をご出席いただきました来賓の方々に感謝を申し上げます。

又、建築関係団体の会員、賛助会の皆様には日頃からのご協力と本日の出席に感謝を申し上げます。

有難うございます。

幕開けの踊り・音楽は祝いの場では定番のかぎやで風ですが、琉球王国時代、首里城で国王の御前で演奏される事から御前風ともよばれているようでもあります。小さな国、琉球は唐ヌユーからヤマトウヌユー、ヤマトウヌユーからアメリカユー、アメリカユーから又ヤマトウヌユーと琉球王国から沖縄県になるまで幾多の困難な世替わりを乗り越ってきました。

琉球王国時代、首里城は3度焼失し再建され、先の大戦で焼失したあと、日本復帰を経て平成4年に4度目となる再建・復元が国によってなされました。県民の心のよりどころで有り続けていた首里城は昨年10月31日炎上・焼失しました。焼失から2か月が経過し国・沖縄県・那覇市等の関係者が再建に向けて取り組みを始めています。

再建を願う多くの方々の支援の輪が広がる中、建築士事務所協会、建築士会建築家協会は連携して建築専門家の立場で再建支援に関わって行きたいとの考えを新年の年頭所感で述べております。

各団体は再建の支援金贈呈や引き続き会員へ支援金の協力を呼び掛けています。

一刻も早い再建がなされる事と竣工式で今日と同じようにさわやかな気持ちでかぎやで風が見れることを願っています。

さて、昨年は度重なる台風、記録的大雨・45度を超す猛暑と異常気象による災害が多く発生しました。

異常気象は世界中で年を追うごとに増えており昨年のCOP21では地球温暖化対策として温室効果ガス排出量削減計画が決められました。

日本も住宅・建築分野においてもさらなる削減が求められ、2021年から新建築物省エネ法が施工されます。

建築物の設計は意匠設計、設備設計、構造計算、積算が一体となって工事を発注し施工監理を経て建物完成となり運用が始まります。

建物運用は建築関連法規、消防関連法規に基づきビル管理会社、所轄官庁により、防災設備等の点検が行われ建物の安全が保たれます。

建物機能を維持する為、絶え間なく動いている電気、水、空気の長期にわたる維持管理を考えなければならない設備設計の大切さを改めて感じています。

本日、ご出席の建築関係・機械・電気関係メーカーの環境に配慮した商品や意匠性、耐久性、機能性、安全性に特化した商品等の情報は設計・監理を行う上で重要であります。今後も情報の発信をお願いいたします。

建築関係団体は本日御出席の監督官庁の御指導を仰ぎながら平成に培った経験を生かし令和の新しい情報も取り入れながら良質な設計・監理を目指し業務に邁進して参ります。今後ともよろしくお願い致します。

むすびになります。ご出席の皆様のご多幸、ご発展を祈念し主催者の挨拶に代えさせていただきます。

令和2年1月9日

(一社)沖縄県設備設計事務所協会

会長 安谷屋 幸助